

田村和彦

福岡大学 准教授

## 中国における高齢化社会と墓地問題

— 国家による生の意味づけの変遷と高齢者の価値内在化の視点から —

本研究は、現代中国における高齢化社会の到来と墓地という、二つの問題が交錯する場を考察の対象とし、近年の墓地政策の変遷の整理し、墓地における墓石購入とその動機を考察することを目的とした。

具体的には、現在葬儀改革が進む内陸部の都市において、殯儀館(火葬場と追悼式会場が一体になった施設)を中心に、墓地の購入(希望)者のインタビューをおこなうことで資料を集め、それを1949年以降の墓地の改革がたどった変遷との関係のなかで考察した。

その結果、墓地購入の動機はしばしば伝統的な語り口を用いて説明されるが、火葬の実施や宗族墓の禁止など、伝統的な埋葬とはすでに大きく異なっており、いわゆる伝統の復興としては捉えられないことを明確にした。そして、現在の墓地は、必ずしもかつてのような世代深度の深い親族の結集点としてではなく、小規模化された家族の紐帯なかで、記憶と結びついて残るものとして機能することを期待しており、死者と遺族は墓地を購入することによって、「慰め」や「安心」と表現されるような象徴的価値を得ることを指摘した。